

令和4年度デイパーク大府事業活動報告

新型コロナウイルス感染対策も3年目を迎え、少しずつ通常生活を取り戻しつつある中で当法人と致しましても、世間の流れを見て試行錯誤しながらの一年がすぎました。新しい生活様式の啓発、皆様への制限や自粛のおねがい、面会・外出制限や、職員の行動規制、リモート面会の推進、利用者・職員のPCR検査、感染予防対策を徹底しながら運営継続し、厳しい状況の中でも、「和」を大切に長福会本来の力が発揮できました。

公益性の発揮、質の高い福祉サービスを継続して提供し、感染予防徹底し安心して利用できる運営体制や人材の育成、「地域の皆様に愛され、頼られるデイパーク大府」を継続して取り組んだ一年でありました。

法人全体

① 施設及び体制整備

- ・高騰する光熱費等の対策として、コージェネレーション設備を一新致しました。
- ・安全衛生・感染予防対策委員会をほぼ毎週開催、職員体調WEBアンケートを期間中毎日実施、感染予防啓発を促し、まん延予防に努めました。
- ・現在7名の障がい者の方が職員として勤務し、障がい者雇用率(5.85%)充足を達成したため、令和5年度も引き続き奨励金の受給法人となります。

・利用者支援

- ・毎月の行事食や嗜好アセスメントも定着し、食事提供改善に取り組んでいます。
- ・機器を導入し、飛沫対策を徹底し、音楽リハビリを実施してきました。
- ・面会についてはリモート面会を積極的に活用しました。
- ・年間100回程度の買い物支援、移動販売等で買い物を楽しんでいただきました。

② 地域貢献

- ・利用者と共同し法人全体の防災訓練を実施しました。
- ・障がい者就職トレーニングセンターと連携し、職場相談支援行いました。
- ・市の委託事業とは別に独自契約の配食サービスにおいて、18名、延べ5400食を夕食宅配と合わせ安否確認を実施しています。
- ・感染予防対策徹底し、会議室を地域自治会や子供会の会議等にご利用いただいております。

【各事業所報告】

【ケアハウス 入居定員 30名】

令和4年度入退去状況 入居者6名 退去者4名 (前年入居者4名 退去者5名)

施設開所から20年以上が過ぎ、開所時から入居されている方が1名お見えになります。その他に10年以上の長期の方も多数入居されておりますが、毎年4名前後の方は入退去で入れ替わり、全体的に新鮮な雰囲気の様変わりしております。

長期に利用されている利用者も多く、月日と共に介護認定入居者も増えてきて、薬の管理に注意が必要な人や訪問介護等の利用を受けて、ケアハウスの生活が成り立っているご入居者様も出てきています。

入居者様の生活調査として、定期的に管理栄養士と担当者による入居者様との面談を行い、嗜好、健康、日常生活、食事(献立)などの検討を行って生活向上に貢献しております。

入居者の生活向上の応援として、市内の医療機関や公共施設、共和駅、大府駅等ニーズに合わせて、無料送迎サービスを引き続き行ってきました。

毎月定期的実施している買い物ツアーについて、生きがい支援活動の一環としてだけでなく、感染予防対策としての側面も意識して行ってきました。食糧品を含めた日用雑貨品等はケアハウスの生活する上で、必要不可欠なものであります。密にならないように配慮して予防対策を施した、施設の送迎車を定期利用することにより、外部との接触の軽減が図れ、まとめて購入することを促すことにより、不要不急の外出削減にも一翼を担ってきたと考えております。1回の参加者は7名前後で、入居者の希望を伺いながらお店を選択、外出することにより社会参加活動の他、自粛ムードの中でも気分転換が図れたのではないかと考えております。

買い物ツアーに参加されない方へは、定期的に来所される訪問販売車に対して、入居者に購入リクエストを伺い業者との間を取り持って、希望の商品が購入できるように支援を行ってきました。

11月には地域住民の方にも参加して頂き、入居者との協働による防災訓練を実施しました。

訪問歯科医院の協力を受け、2月には希望するご入居者に無料定期歯科検診を実施するとともに、継続的な治療が必要なご入居者様には、検診内容の説明をして頂きました。

その他の生きがい活動としまして、お花見会、クリスマス会等を行わせて頂きました。感染予防対策に配慮しながらWithコロナの中でのレクリエーションも3年目を迎え、5月には参加希望者を募ってイチゴ狩りも行くことが出来ました。試行錯誤ではありますが両立の方向性が定まりつつあり、ご入居者様にもご協力を賜りながら、潤いのある生活を送って頂けたのではないかと自負しております。

【第1デイサービス 利用定員 30名】

令和4年度 延べ利用者数名 6,048名 稼働率 65.4% (前年度稼働率 76.9%)

	稼働日数	延べ人数	人員数	平均利用者数	稼働率
4月	25日	516	51	20.7	69.1%
5月	28日	560	53	20.7	69.1%
6月	26日	542	52	20.8	69.5%
7月	26日	527	53	20.8	67.6%
8月	27日	485	49	18.0	59.9%
9月	26日	506	53	19.5	59.9%
10月	26日	490	51	18.8	62.8%
11月	26日	496	54	19.1	63.6%
12月	27日	504	54	19.4	64.6%
1月	24日	471	54	19.6	65.4%
2月	24日	436	42	18.2	69.1%
3月	27日	518	48	19.1	63.6%
合計	312日	6,051	614	19.6	65.4%

昨年度も新型コロナウイルスの影響は大きく、稼働率の減少傾向となっています。本人が陽性となるケースもありましたが、ご家族が陽性となり、ご本人が外出できずお休みされるケースが多数見られました。

《課題・分析》

新型コロナウイルスの影響はまだまだ継続するとは思いますが、分類が5類に位置づけられた為、徐々に影響も緩和されると思われます。新規ご利用者を紹介して頂ける様、居宅介護支援事業所、包括支援センターとの信頼関係を構築し、ご依頼をいただいた際、常に受け入れができる体制、環境づくりに努めたいと思います。

社会情勢を見ながら、サービス内容の緩和、慰問、ボランティアの受け入れを再開でき、よりご利用者様に楽しんで頂けるデイサービスを目指していきます。

《感染予防対策》

高齢者施設でのクラスターは増加傾向と聞きます。引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者に安心してデイサービスへお出掛けいただけるように努めていきます。

《サービスの充実・職員の資質向上》

外部講師による研修・eラーニングを活用した内部研修に参加し、研修で学んだ内容を普段の仕事に生かし、利用者の満足度向上につなげていけるように努めていきます。

【第2デイサービス 利用定員 30名】

令和4年度 延べ利用者数名 6,070名 稼働率 65.1% (前年度稼働率 71.2%)

	稼働日数	延べ人数	人員数	平均利用者数	稼働率
4月	26日	488	54	18.8	62.6%
5月	26日	532	56	20.5	68.2%

6月	26日	530	55	20.4	67.9%
7月	26日	485	53	18.7	62.2%
8月	27日	508	52	18.8	62.7%
9月	26日	517	53	19.9	66.3%
10月	26日	574	53	22.1	73.6%
11月	26日	513	53	19.7	65.8%
12月	27日	485	54	18.0	59.9%
1月	24日	422	50	17.6	58.6%
2月	24日	493	54	20.5	68.5%
3月	27日	523	52	19.4	64.6%
合計	311日	6,070	639	19.5	65.1%

昨年度は、前年度に比べ稼働率 6.1%減少致しました。9月～11月は新規利用者の獲得も多くあり稼働率が一旦上昇したものの、12月に入り、コロナ事情の為に入院される方、利用中止の方、利用を控える方などが増え、稼働率約7%近く減少となりました。その後、若干の改善はあるも、新規利用者獲得ができず、60%台の低い水準のまま継続することとなりました。

《課題・分析》

昨年度より利用者人員が徐々に減っている状況ではあったが新規利用者獲得ができず、関連機関への営業努力不足及びPRの仕方などに問題があったと考えております。また、新型コロナウイルス感染拡大により行事・イベントなどが中止になり、事業所内での創意工夫も足らなかったと考えております。

今後は、営業の仕方、PRの仕方を考え、実践していけるよう努力し、利用者拡大に全力で努めたいと考えております。

《感染予防対策》

感染症予防対策を徹底し継続して行います。

《サービスの充実・職員の資質向上》

外部研修・e-ラーニングにて法人研修に積極的に参加いたしました。今後もケア会議等で多職種連携を図り、利用者、家族、ケアマネジャーとの情報共有を行いながら、信頼関係構築に努めてまいります。

【短期入所事業所 定員 30名】

令和4年度 稼働率 82.3% 年間 9,010名 (計画 稼働率 90.0% 年間 9,855名)

<感染症について>

昨年度も新型コロナウイルス感染の影響を受けながら、感染対策を継続し稼働率を何とか維持して参りました。感染時、一昨年の経験を活かしてBCP事業計画に添って職員最低人数で出来る限りの支援を行いながら一同が協力して業務を行い乗り切ることができました。

5月新型コロナ感染が5類に引き下げにはなりましたが、今後も引き続き事業所内の感染予防対策やご利用者様・職員の体調管理に留意し、体調不良を早期発見するべく支援して参ります。

<稼働について>

事業所内で感染者が出るとやはり感染の広がり早く、それに対応する為には入所の制

限をかけざるを得ませんでした。1回の感染につき約10日以上は制限をかける状況となった為、感染者が出た月は稼働率が急激に落ちました。稼働率を保つには、感染が出ない事が1番ですが、こればかりはどうしてもコントロールが出来ない状況で1日も早く終息できるよう力を注ぐより他ありませんでした。

しかし昨年1年間、新規の獲得は一昨年を上回りましたので、今年度もケアマネージャーや病院のソーシャルワーカーと連携を図り稼働率90%以上を目指します。

<昨年度の取り組みについて>

昨年度、新卒職員が2名事業所に配属されました。事業所内新人育成に力を注ぎ新人教育の担当を決めて、仕事だけに限らず悩みや不安など常に話し合いの出来る体制（面接・コミュニケーション）を整え指導にあたりました。現在、育成にあたった2名の新人職員は日勤業務に限らず夜勤業務まで出来るまでに成長する事ができました。4月より新たに新人職員1名と他部署で勤めていた昨年入職した職員1名が異動となった為、今年度も新人育成に力を注いで参ります。

【居宅介護支援事業所 定数5名】

令和4年度 延べ利用者数 1713名

要介護者 1,330名 要支援・介護予防ケアマネジメント対象者 383名

(計画数値 要介護者 1,350名 要支援者 330名)

- ・年間延べ利用者数は昨年度と比較し38名増となっています。要支援・介護予防マネジメント対象者は、受け入れ目標の330名を超える383名となりました。地域包括支援センター等からの紹介依頼をうけ、安定したケース受け入れができています。
- ・地域の困難事例への支援、入退院時の医療との連携など他職種と連携を図り支援いたしました。地域包括支援センター及び近隣の医療機関からの依頼、相談ケースを含め年間相談件数は84件でした。
- ・介護支援専門員4名から5名へと増員し新人ケアマネージャーへの指導育成に努めました。介護支援専門員5名（内、主任介護支援専門員1名）を配置し特定事業所加算（Ⅱ）の加算取得を維持し、他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者4事業所と共同で事例検討会等の研修を年2回（11月・3月）開催、事業所内伝達会議（事例検討含む）を週1回程度実施し介護支援専門員の資質向上を図りました。
- ・知多北部広域連合主催のオンデマンド方式による研修や地域包括支援センターによる事例検討会、法人内、外部研修等に参加いたしました。
- ・大府市介護支援専門員連絡協議会の会員として目的に賛同し活動しています。大府市主任ケアマネの会（zoom会議）に参加し、地域の介護支援専門員との交流を図り情報交換いたしました。
- ・令和4年度第25回の愛知県介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れ、指導方法等習得し事業所内の介護支援専門員の資質向上を図りました。

・地域包括ケアシステムの構築に向けた法人全体の取り組みと合わせ、地域連携の入り口としての役割を担えるよう支援しています。

・法人内の業務の効率化に向け、「サービス種別ごとに利用者が登録されている利用者を一本化」し、「福祉の森FUTURE」の利用者情報の統一を今後も継続いたします。

・訪問及び面談時は新型コロナウイルス感染予防に努め、ご本人様、お家族様の支援を行いました。今後も感染予防等に努め支援いたします。

【特別養護老人ホーム 利用定員 80名】

新規入居者数 29名 退居者数 28名 稼働率 90.78% (前年度稼働率 92.4%)

令和4年度退居者数は28名、昨年と同数の退居者数でした。そのうち8割の方を当施設で看取らせて頂きました。これは過去最高の看取り率になります。

新規入居者様29名、コロナ感染対策を重視し入居に関しては慎重に対応してきました。11月中旬に2階入居者様15名コロナ感染、同時に職員5名感染しクラスター発生、新規入居者受入れができず、稼働率も11月以降平均87%となり、結果年間収入では昨年に比べ600万の減収となりました。

年間平均稼働率では1.6%減となっております。

入院者数年間26名(内コロナ感染での入院7名)救急搬送10件、骨折での入院1件、誤嚥性肺炎・胆のう炎・蜂窩織炎等炎症性の疾患の方も多くありました。熱発での受診の受け入れに苦慮し、救急搬送を依頼しても受入れの病院がない、コロナの診断はしてもかなり悪化しないと入院ができず深夜に施設に連れ帰ったケースもありました。看取りの方の3分の1はコロナ感染により身体レベル低下、食事がとれなくなり、直の死亡原因ではありませんが、影響は大きかったと考えます。感染原因についても病院受診時や入院時に感染されたように思います。

今後も入居者様の状態把握に努めなるべく嘱託医での治療で施設の生活ができるように多職種連携していきます。

感染対策の為にご家族との面会ができずウェブ面会を中心に実施してきました。

身体の変化のある方や看取り対応の方についてはご家族と面会していただいております。しかし、入居者様の楽しみは半減しているのは現実です。個別ケアを目標に寿司の出前やユニット内での体操や個別でのリハビリ等を実施、調理レクやカラオケ等も行っています。ご家族様には写真やご様子報告を郵送させていただき、職員一同今後も少しでも心が潤うようなことを継続して考えていきます。

感染対策を継続しコロナ感染前の生活に戻れるようにご家族との触れ合いも大切にしていきます。

【グループホーム 定員数18名 (2ユニット)】

令和4年度実績 月平均稼働率 90.6% (計画目標 98.4%)
入居者年間延べ数 5,954名 (計画目標 6,465名)

- ・令和4年度もコロナウイルスによる感染対策を実施してきました。職員の就業前検温、アルコール消毒、マスク着用の徹底をしております。また愛知県高齢者施設等職員対象の無料スクリーニング検査(PCR検査)の定期実施と令和4年12月からの入所系高齢者施設の無症状職員への抗原検査(週1回)を実施しております。
ご入居様に対しても前年同様、外出の制限、食事作りや配膳の制限、ご家族との面会の制限など、感染防止に努めてまいりました。
ご家族様への面会の規制(リモート面会)不要不急の外泊外出の規制等継続しています。
5、7、8月に職員のコロナ陽性(各1名)が発生し勤務変更しながら対応しています。

8月26日に2階フロアにて職員1名、入居者様2名のコロナ陽性が判明し、その後最終的に入居者様6名がコロナ陽性となりました。ゾーニングの対応を実施していましたが、徐々に感染していった状況であります。(施設療養10日間)
令和5年3月24日に1階フロアにて職員1名、入居者様2名のコロナ陽性が判明しております。ゾーニング対応実施し、他の入居者様に感染が広がることはありませんでした。
- ・年間を通してのイベントやレクリエーションもコロナ状況の中、前年度同様に季節を感じて頂く時期はドライブ見学の外出支援、フロア内でのイベントレクを感染対策徹底した企画をもとに実施しております。
毎月の入居者様の様子を写真に収めコピーした物をご家族様へのお手紙と一緒に同封し、ご家族様が日々の様子が分かりやすいようにしています。
- ・残存機能の低下防止や気分転換を目的に毎日の体操や廊下歩行運動、階段昇降運動、近所周辺のお散歩を積極的に実施しています。また入居者様の役割としてごみ捨てやお花の水やり、草むしりなども個別に実施しております。
- ・令和4年度の入居者様の入退居状況⇒新規入居9名 退居10名
退居者⇒特別養護老人ホーム(当法人)への入居7名 他施設3名
(身体的ADLの低下での退居が6名 転倒による骨折での退居が4名)
9月～11月にかけて4件の転倒による骨折事故が発生しております。
発生状況・原因分析・再発防止策等を職員全員で話し合いを集中的に実施してきました。
今後の再発防止にむけて再発防止対策を継続しております。
- ・運営推進会議は奇数月(5・7・9・11・1・3月)に実施しています。
すべて書面での開催となりました。(感染予防対策のため)
- ・令和5年2月6日 第三者評価機関による外部評価の訪問調査を実施しています。

以上